

最初に読んだ時の感想

絵もお話もかわいい。くまのくーたんが食べ物のことばかりでかわいい。
内容がわかりやすい。かわいいのに、前向きになれる。

2022年（令和4年）の1学期始業式（4月8日）で、校内オンラインの画面越しの式でしたが、読み聞かせをしました。

1学期の始業式は、クラス替えがあり、担任の先生も変わるので、ワクワクよりもドキドキと不安を感じている子が多いので、くーたんのお話がぴったりかなと思いました。

また、「こうしましょう」とか「がんばりましょう」という話よりも、絵本を読み聞かせることで、みんなと楽しく過ごそうねということが伝わりやすいと思ったのです。

コロナ禍でなくても、子どもたちはたくさん不安をかかえています。友達とうまくコミュニケーションをとれない子供も増えています。自分をうまく表現できなくて、でも認めてほしくて、小さいながらにいろいろな葛藤を抱えています。そんな子供たちが、学校で少しでもほっとして、ともだちと笑顔で過ごすことのできる環境をつくっていきたいと思っています。学校が安心できる場所であるように、教職員とともに頑張っています。

学校だけがすべてじゃない について

その通りなので、特にひっかかりはしませんでした。次に「世界はひろいんだよ」というメッセージがあって、本当にその通りで、今くよくよしなくても、今何かができなくても、大丈夫なんだよって伝えることができます。

ものごとをポジティブに考えて前に進もうということ以外に、いろいろなメッセージを伝えることができるなと思いました。

世界は広いから、もっともっといろいろなことにチャレンジしていこうね、とか。

この間、令和5年の4月6日 入学式でも、お祝いの言葉の中で読みました。新入生（1年生）のドキドキ感にぴったりです。そして、なかなかじっとできない子どもたちも、絵本の映像を見ながらのお話だと興味をもって聞くことができます。また、保護者の方に、おうちでの子どもたちへの言葉かけで、なぜできないの？とかはやくしなさい！とかよりも、肯定的な言葉がけをして、見守ってほしいとお伝えすることができました。くーたんが、「宿題をしたらママにほめてもらえそう」というところが素敵です。宿題をして当たり前ではなくて、自分でよく頑張ったねと、ほめてもらえたら、子どもたちは次もその先も頑張ることができると思います。学校でともだちとけんかしたとか、いやなことがあったとか子どもが家で話し

たときに、保護者の方がくーたんのように言葉がけをしていただけたら、子どもは前向きに進んでいくことができます。

（親はどうあるべきか という「親学習」を、さりげなくすることができました。）

絵もストーリーも歌も全部大好きです。

大阪狭山市立南第二小学校